日文研

International Research Center for Japanese Studies

The 73rd Nichibunken Public Lecture

第73回
日文研学術講演会

荒木 浩 先生
牛村 圭 先生
退任記念講演会

受講料
入場無料

定員
500名（抽選）

2025年3月10日（月）14:00-16:15（開場13:30）

国際日本文化研究センター内講堂

詳しくは
裏面を
ご確認ください

古典の〈無常〉と孤の宇宙
―『方丈記』から考える

荒木 浩（日文研 教授）

グラムシに励まされ トドロフを友として
―Japanese studies との相剋と和解

牛村 圭（日文研 教授）

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

日文研は、日本文化の研究を支える国際拠点です。

RAKUSAIKA PROJECT

第73回日文研学術講演会
The 73rd Nichibunken Public Lecture

挨拶

井上　章一　国際日本文化研究センター 所長

司会・趣旨説明

フレデリック・クレインス　国際日本文化研究センター 副所長

講演

荒木　浩
国際日本文化研究センター 教授

古典の〈無常〉と孤の宇宙
—『方丈記』から考える—

2022 年 7 月 14 日付の Nichibunken Newsletter に「2021 年のブッダ、『方丈記』、そして〈無常〉研究の未来へ」というエッセイを載せた。前年始動の共同研究「ソリッドな〈無常〉／フラジャイルな〈無常〉」のこと、キリシタンの描くブッダ伝も論じた『古典の中の地球儀』（2022 年）のことなどに触れ、最後に「フラジャイルな〈無常〉」という発想の原点となった『方丈記』についての本を執筆中であることを記し、「この名作と向き合う日々が続く」と閉じている。それは『方丈記を読む孤の宇宙へ』として刊行され（2024 年）、共同研究の成果も『〈無常〉の変相と未来観ーその視界と国際比較』と題して編集中だ。そこであらためて『方丈記』を起点に、古典の〈無常〉とそのグローバルな視界について、これまでの研究を振り返りながら考えてみたい。

牛村　圭
国際日本文化研究センター 教授

グラムシに励まされ
トドロフを友として
—Japanese studies との相剋と和解—

Japanese studies の淵源は第二次大戦下米国での国策としての地域研究にある。近代文献学や諸語に通じた西洋の巨人たちが推進した Japanology とは異なり、Japanese studies は敵国日本を知るという急務のもと、日本語を知らずとも他分野の専門知を活かすアプローチで遂行され多くの成果を挙げた。日本の高度経済成長期、高まる海外での関心は Japanese studies の隆盛をもたらした一方、国内で量産された日本の独自性を説く「日本文化論」は諸外国からの「日本叩き」の標的となった。往時米国での Japanese studies 専攻学徒としての日々を顧みつつ、日文研創立来の学際性・国際性を謳う「国際日本研究」を批判的な検討の俎上にも上げ、Japanese studies との異同に触れながら「国際日本研究」の将来をも展望する場としたい。

日時・場所

2025年3月10日（月） 14:00〜16:15（開場 13:30）
国際日本文化研究センター内 講堂 入場無料・定員 500 名（抽選による）

※本講演につきましては、当日のオンライン配信はいたしませんが、後日、日文研公式 YouTube チャンネルでの公開を予定しております。

申込方法

①イベント名 ②氏名（フリガナ）③郵便番号・住所
④電話番号（日中ご連絡が取れるもの）⑤メールアドレスを明記のうえ、
申込フォームまたはハガキのいずれかにてお申し込みください。
申込者多数の場合は、抽選を行います。

※ 複数名で参加ご希望の方は、全員分の必要事項①〜⑤が必要です。
※ 抽選結果は、当落にかかわらずハガキにてお知らせいたします。（2025 年 2 月下旬頃発送）
※ お預かりした個人情報は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構関連事業や日文研が開催するイベント及び活動等のご案内に使用いたします。

申込締切：2025年2月10日（月） 正午必着

※今後ハガキでのご案内を廃止する予定です。お申し込み時にはメールアドレスの記入・入力をお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ

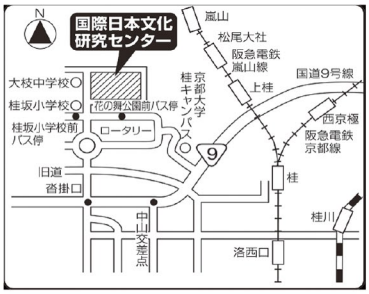
国際日本文化研究センター 総務課広報係
〒610-1192　京都市西京区御陵大枝山町 3-2
TEL: 075(335)2046　E-mail：forum@nichibun.ac.jp
申込フォーム：https://forms.office.com/r/RjxQuxRav3

【申込フォーム】

アクセス

無料送迎バスはございませんので、公共交通機関をご利用ください。

交通手段 桂坂中央行きのバスにて「桂坂小学校前」又は「花の舞公園前」下車

- ●阪急桂駅西口：　市バス　西 5・西 6（約30分）、京阪京都交通バス　20・20B（約20分）
- ●阪急桂駅東口：　京阪京都交通バス　26（約20分）
- ●阪急洛西口駅：　ヤサカバス 1・6（約20分）
- ●JR桂川駅：　ヤサカバス 1・6（約30分）
- ●JR京都駅：　京阪京都交通バス　21・21A・26（約45分）

※お車でのご来場は近隣へのご迷惑となりますので、お断りしております。移動や聴講などについて特別な配慮が必要な方は、事前にご相談ください。